



# 明日を拓く

学校報  
令和2年11月20日  
No.32  
美郷町立美郷中学校

## ■美郷町英語教育向上推進事業公開研究会開催



今年度は、町内小中学校の外国語教育の充実を図ることを目的とした標記事業に、研究指定校として授業改善に取り組んできました。



7月に校内研究会を開催して成果と課題を捉え、更なる改善を期して11月18日(水)に、公開研究会を開催いたしました。

午前中は仙南小学校を会場に4年生と6年生、午後は本校の1年生と3年生の公開研究授業を参観し、子どもたちの学びの姿や教師の指導の在り方について



研修しました。いずれの授業でも、児童生徒が意欲的に他とのコミュニケーションに臨んで学びを深めようとしていました。

本校英語科では、目的や場面に応じて、自分の考えや気持ちを伝え合う力の育成、とりわけ即興での発信力を高めることに重点を置いて学習を進めてきており、当日もその成果が十分に発揮されました。

研究会の指導者には、国際教養大学のM. O O 准教授とN. O O O 准教授をお迎えし、M.



先生からは、「より楽しい外国語教育を目指して」と題してご講演を賜りました。今回の成果と課題を踏まえ、新学習指導要領に規定された外国語学習の一層の充実を期して、町内小学校との連携の歩みを進めてまいります。

## ■車いす2台寄贈♡生徒会からロトピア仙南様へ



11月16日(月)、全校生徒の代表として前期までの生徒会役員が、ロトピア仙南様へ車いす2台を寄贈しました。また、18日(水)には、同様に前生徒会長とJRC委員長が町社会福祉協議会へ出向き、「赤い羽根新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」へ寄付金を届けてきました。



これは、今年の「特別な一心祭・合唱祭」の一連の取組であるチャリティー募金の収益金を充てての取組です。例年、一心祭では限定販売やチャリティー活動等を実施して、国内外の福祉活動等に役立てていただくよう取り組んできており、今年度の生徒会は、「コロナ禍中だからこそ、この活動を是非とも継続したい」と考え、実現にこぎ着けました。